

I 組織の使命

病院局では管理部のもと、市立函館病院、市立函館恵山病院、市立函館南茅部病院が病院事業を、市立函館病院高等看護学院が看護師養成事業を運営します。

病院局のミッション（使命）は、
「地域住民の方々に最良の医療を提供する」ことです。

このため、各施設の経営健全化に努めるとともに、市立函館病院は、高度急性期・急性期医療を担い、道南圏の中核医療機関として救命救急センターをはじめ様々な役割を果たし、市立函館恵山病院と市立函館南茅部病院は、急性期や慢性期医療を担い、それぞれの地域において初期医療や救急医療などを提供する施設としての役割を果たします。

また、市立函館病院高等看護学院は、医療者としての素養を育み、専門的知識や技術を習得するとともに、温かい心を持つ看護師を社会に送り出します。

II 組織の基本方針

○ 管理部

- ・ 病院局長のもと、3病院事業と1看護師養成事業の健全な運営に努めます。

○ 市立函館病院

- ・ 道南圏域における救急医療、災害医療を支えます。
- ・ 地域の医療機関との連携を深め、地域医療の充実に努めます。
- ・ 高度・先進医療を担い、患者さん中心のチーム医療を提供します。
- ・ 地域医療を支える優れた医療人を育成します。
- ・ 公共の役割を担いつつ、健全な経営に努めます。

○ 市立函館恵山病院・市立函館南茅部病院

- ・ 安全な医療を目指します。
- ・ 高度医療機関と連携して地域医療の確保に努めます。
- ・ 保健・福祉と協働して地域住民の健康づくりに貢献します。

○ 市立函館病院高等看護学院

- ・ 看護師として必要な専門的知識や技術を習得させます。
- ・ 医療チームの一員を担えるよう調和の取れた人間形成を目指します。

Ⅲ 主要施策・事務事業

1 新型コロナウイルス感染症への対応

- (1) 令和5年度はウィズコロナへの移行に対応した医療提供体制が求められており、市立函館病院は、道南圏の中等症や重症の患者を中心に受け入れる役割を担います。
- (ア) 医師会をはじめ、保健所や地域の医療機関との連携をより一層深め、重症患者は設備の整っている市立函館病院で受け入れ、軽症患者は、他の病院で受け入れるなど、役割分担して対応いたします。
- (イ) 地域で感染者が急増した場合は、適切なスタッフ配置と病棟運営により感染患者の対応に努めます。
- (ウ) 新型コロナウイルス感染症への対応と同時に、3次救急、がん診療など市立函館病院でしか治療できない疾病についても、継続して対応できる体制を維持・確保してまいります。

2 患者サービスの向上と職員が働きやすい環境づくり

- (1) 患者サービスの向上を図るほか、老朽化した施設設備の更新に努め、職員が働きやすい環境づくりを目指します。
- (ア) 集中治療部門の体制強化を図ります。
- (イ) 内視鏡検査後の患者休憩室（リカバリー室）、生理検査室（検査スペース、待合室）の拡張を検討します。
- (ウ) 患者サービスの向上と外来の混雑緩和に向けて検討します。
- (エ) 標準化された医療の提供を目的に、クリニカルパスの整備と推進を図り令和4年度の適用率（実績54.5%）を上回るよう努めます。
- (オ) 老朽化した施設設備の計画的な更新を目指して、更新に係る計画を策定します。
- (カ) 医師労働時間短縮計画を策定して医師の働き方改革を推進するほか、タスクシフト・シェア検討会において業務の効率化を図り、職員が働きやすい環境づくりについての検討を進めます。

3 経営の健全化

- (1) 各病院がそれぞれに求められる医療機能を果たしながら、そのサービスを将来にわたり継続して提供していくために、単年度資金収支の改善に努めます。
- (ア) 市立函館病院では、引き続き単年度資金収支の均衡を目指します。
- (イ) 市立函館恵山病院、市立函館南茅部病院では、医業収支の改善に努めます。
- (ウ) 公立病院経営強化プランを策定します。